



(人財)

協和プレス工業株式会社

和歌山県紀の川市長田中

人を育て 技術を磨き 日本未来をつくる



管理部長
野村侑加さん

◇御社の歴史を教えてください。

当社は、昭和三八年に和歌山市西庄において事業を立ち上げ三菱電機株式会社和歌山製作所様と取引を開始し、主に業務用空調機・冷凍機、工作機械、情報通信機器で使用される板金部品を製造しています。

昭和五年五月に和歌山市次郎丸に移転、平成二年五月に紀の川市長田中に工場を再度、移転新設しました。精密板金加工・プレス加工の技術をベースに、お客様に信頼される会社を目指して、「誠実・挑戦・協調」を社是とし「基本の徹底」「応用と創意工夫」「創造へのチャレンジ」の実践を積み重ね、現在に至ります。

◇ものづくりへのこだわりは？

安全・品質を確保し、お客様ニーズにお応えする事はもちろんですが、さらに、お客様が望む半歩先を意識した「ローコスト」・「多品種小ロット」・「短納期生産」を目指すことを基本方針としています。それを実現するため、常に最先端生産設備を導入しています。あわせて、日々技術を磨き、アイデア・創造力を最大限に発揮し、生産効率の改善を行います。



(溶接作業準備)



(溶接作業)

から仕事をしています。これはこの仕事の難しいところでもあります。真のやりがいを感じ、未来への挑戦として全従業員が一丸となり取り組んでいます。この姿勢が私達の強みとされているところです。

◇従業員の人材育成は？

当社では人材を「人財」として社会貢献をしていきたいという強い思いがあります。そのため、「美点凝視」の精神でお互いがお互いを尊重しつつ人間的に成長する「社内木鶏会」という勉強会を実施しています。技能の育成制度として、正社員や派遣社員、パート・アルバイト等の雇用形態にかかわらず、当社の従業員は技能検定等の資格取得にチャレンジできます。国家試験である技能検定取得者は、現時点で工場板金一級技能士十三名、二級技能士十六名が在籍しています。技能検定取得に向けては、先輩が後輩を指導します。この時、先輩も、指導することがきっかけとなり、より高い水準にスキルアップします。この制度は、先輩と後輩の信頼関係を築く素となり、お互いの「和」ができることから、組織力維持・強化の役割も担っています。

◇ポリテクセンターから採用した感想は？

職務に取り組む姿勢が全然違いますね。自身のやりたい仕事を目標として入社して来ますから職場で習った事を少しでも早く習得しようという心構えがあり覚える気持ち・やる気が全く違います。ポリテクセンターで、溶接・金属加工の一連の仕事の流れを習得しており、既に基礎が出来ているので、仕事を教える易いです。修了生は、仕事上の課題に対して、安全・品質・生産性を意識しながら、他の者に確認し、自らが考え、解決する力を身に付けていますね。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

これからもポリテクセンターから採用したいと考えています。そのため、やる気、元気がある人を育てて欲しいと思います。根気よく向上心を持って取り組む姿勢や発想力を活かし、アイデアや創意工夫するものと考え方を教育していただき、就職してから職場の改善活動に直接する指導をこれからも期待します。

(令和元年7月取材)

修了生の声(溶接加工科)

溶接加工科 令和元年6月修了
西畑 千裕 さん(32歳)



ポリテクセンターで訓練を受ける前は塗装業をしていました。ものづくりが、元々好きでしたが就職することができませんでした。子育てしながら働ける環境を探していた時に、ハローワークのパンフレットでポリテクセンター和歌山の職業訓練に溶接加工科がある事を見つけ、諦めきれなかった。「ものづくりへの思い」が再燃しました。

訓練は難しい事の連続でしたが先生の指導通り一生懸命取り組み、日々のスキルアップが目に見えて分かり、出来るようになることから、苦労した甲斐がありました。今、修了して思う事は、先生方の熱心とメリハリの効いた授業はとても面白かったということです。訓練期間中は毎日楽しく良い雰囲気でも勉強できました。溶接加工科は女性も、全く違和感はなく、みんなとても親切で優しい方たちです。少しでも興味がある方は、私達のように不安もなく楽しく勉強でき、毎日充実した日々を過ごした後に就職できますのでお勧めします。特に女性の方には一歩踏み出して欲しいと思います。